

# 平成28年度 諏訪共育ちの研究会研修報告 コーチング

諏訪共育ちの研究会

1 実施日時 平成28年 8月 6日(土)

2 参加者 教育会会員4名 一般の方10名  
計 14名

3 講師 山口吉孝さん  
(株)アクト代表取締役、NLP(神経言語プログラミング)プラクティショナー、厚生労働省認定産業カウンセラー、(社)教育文化振興会認定生涯学習トレーナー



4 実施内容

- ・コーチングとは
- ・コーチングの基本スキル

5 参加者の声

- ・自分のコミュニケーションでのパターンに気づかせていただき、相手のことを主体的に会話する。そして、その言葉は自分が相手のことを考えて会話することをまなびました。
- ・コーチングは日常生活の中、家庭や地域の中でもとても役に立つスキルだと勉強させていただきました。自分のあるべき姿にも気づけて本当にお得な一日になりました。
- ・コーチングという人を活かす対話は実際に行ってみると難しいなと思いました。今まで、相手を主体に話ができていなかったことを思い知らされました。そんな私も一日を過ごす表情が柔らかくなってきたと言われました。相手のことを大切にしようということをコーチングの基本にすると姿勢や表情も変わって行くのだと思います。今日の学びを忘れず相手が活かされる言葉を使いたいです。



- ・自分の問題点に気づかせていただくよい機会になりました。
- ・コーチングを難しく考えていたが、本人が望んでいないで主体性がないままの一方的な会話では成り立たないこと、フラットな状態が基本になることを感じました。
- ・会話をする時何か言わないといけないという焦りがあったのですが、聞くことも重要であることに気づいて気持ちが楽になりました。

6 成果・反省など

- ・会員以外の先生や一般の方の参加が多く、学校に限らないよい関係での研修になりました。しかし、助成金をいただいて、参加費も抑えて参加しやすいようにしましたが、会員の参加が少ないので残念です。もう少し多くの先生方に参加してもらえるように開催時期や呼びかけを工夫していきたい。
- ・参加者の方から有意義な研修になった事の感想が多く寄せられ、継続して参加した方もいるので、短時間の研修ではあったが、次年度も開催していきたい。
- ・次回の研修(10月29日)についてはもう少し早めのお知らせをしていきたい。